

令和8年度学校給食費について

1 令和7年度の対応について

令和6年度から令和7年度に上昇した学校給食基本物資のパン、米飯、牛乳の価格の上昇分に対応するため、令和7年度の2学期から給食費を幼稚園で5円、小学校で10円、中学校で15円増額した。増額分については公費の負担とし、保護者負担は据え置いている。

2 現状の主な対応と問題点

物価上昇に対応するため、献立の工夫や変更、食材を吟味して購入するなど副食費の価格を給食費内で抑えるよう工夫を続けているが、令和8年度に向けて学校給食基本物資(パン、米飯、牛乳)や副食用の各種食材の価格が上昇傾向にあることから、現状の学校給食費のままでは、旬の地場産食材を取り入れつつ安全安心で栄養価を維持した「生きた教材」として活用できる学校給食を実施することが困難になることが見込まれる。

3 学校給食基本物資(パン、牛乳、米飯)の令和8年度価格の見込み

(価格変動要因)

- ・米飯はコシヒカリの令和6年度の概算金20,100円に対して令和7年度の概算金26,000円と前年比約1.3倍となっている。
- ・学校給食基本物資の供給事業者を取りまとめている富山県学校給食会によると、パン、牛乳についても例年並みの価格上昇が見込まれる。

4 令和8年度の学校給食費について

栄養バランスのとれた豊かな食事を提供するため、学校給食基本物資(パン、米飯、牛乳)等の価格高騰分を吸収できるよう給食費の見直しが必要と考える。

学校給食基本物資の令和8年度増加見込等を考慮して、小中学校それぞれ20円増額して下表のとおり改定したい。

射水市学校給食費改定(案)

	小学校	中学校
R7年度2学期～	330円	380円
増額分	20円	20円
R8年度～	350円	400円

※ 令和8年度から小学校学校給食費の負担軽減のため給食費負担軽減交付金が創設され、一人当たり月額5,200円が自治体へ支援される見込み(いわゆる給食費無償化)

月額5,200円を超える分及び中学校学校給食費の支援については、令和8年度当初予算で検討中